2026 年 11 月 12 日

各　　位

会　社　名 日 本 証 券 金 融 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長　下山田　守邦
（コード番号　8511　東証プライム）
問 合 せ 先　執行役員コーポレートガバナンス統括室長　成實　朗
（TEL．03-3666-3184）

「当社が目指す経営の長期的展望」の見直しに関するお知らせ

当社は、「当社が目指す経営の長期的展望」と「第 8 次中期経営計画」に基づき、証券・金融市場のインフラ機能を支えるプライム市場上場企業として、中長期的な企業価値の向上に向けて取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、本日公表した 2026 年度の業績予想は当初想定を上回り、「長期的な方向性」で掲げた ROE 8%の目標を想定よりも 2 年前倒しで達成する見通しとなりました。これを踏まえ、2026 年 11 月 12 日開催の取締役会において、2025 年 11 月 13 日付『「当社が目指す経営の長期的展望」の見直しに関するお知らせ』で公表した「当社が目指す経営の長期的展望」を別紙のとおり見直すことを決議いたしましたので、お知らせします。

以　上

別紙

当社が目指す経営の長期的展望

１．当社の目指す将来像

証券・金融市場のインフラ機能を支える我が国唯一の証券金融会社として、証券・金融市場の発展に貢献することを通じて、高い財務の健全性維持のもとで持続的な成長・企業価値の向上を実現する、機動性・柔軟性に富んだ特色あるユニークなアジア No. 1 のセキュリティ・ファイナンスカンパニーを目指す。

２．コーポレート・メッセージ

Be unique. Be a pioneer.

唯一をつくる、開拓者であれ。

３．長期的な方向性

当社は今後とも、我が国唯一の証券金融会社として証券・金融市場の参加者の取引ニーズに機動的かつ柔軟に対応し、市場の発展に貢献することを通じて、高い財務の健全性維持のもとで持続的な成長・企業価値向上に向けて、グループ企業の総力を結集して取り組む。

こうした経営の方向性のもとで、持続的な成長に必要な投資や資本基盤の充実を図りつつ資本コストを上回る安定的かつ着実な価値創造に努める。その際、ROE については 12%の水準を意識しつつ、その着実な向上に向けて取り組んでいく。

併せて、株主還元については、配当性向 70%を目安とするとともに、柔軟かつ機動的な自己株式取得の実施により、引き続き株主還元の充実に努めていく。

こうした経営の取組みを通じて、PBR についても 1 倍超の市場評価を維持する。

また、指名委員会等設置会社の機関設計のもと、取締役会・各委員会審議の実効性の一層の向上や情報開示のさらなる充実、厚みのある人的資本の形成に注力しつつサステナビリティ課題にも取り組み、コーポレートガバナンスの強化に努めていく。

以　上

（注）なお、上記の株主還元方針の見直しは、ROE8%の達成後に行われるものであり、達成までの間は、現行の株主還元方針に基づき総還元性向 100%を継続いたします。2027 年 3 月期の期末配当予想については、当社が本日公表している「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。